

Aichi Soseido Press 2013.02

日本相生道協会愛知県支部から皆様に、旬のニュースをお届けします。

第七回 相生道愛知県大会

前号に引き続き、2012年12月に開催された「第七回 相生道 愛知県大会」の様子をお伝えします。

午後はまず「多敵競技」が実施され、各道場から選出されたメンバーが、四対一の演武を披露しました。



続いて行われたのは「法形競技」の決勝です。午前の予選で優秀な成績を収めた二人組が、優勝を目指して攻防を行います。

この競技は二人組で勝ち上がりますが、あくまで即応性を競うものであり、事前の打ち合わせを避けるため、予選・決勝とも、クジ引きによって組み合わせが決定されます。六級および五級は予め決めた二人組で出場できますが、それより上の級位・段位者は、毎回シャッフルされます。

個人競技のように相手を制圧する力ではなく、相手の意図を汲み取り、引き出し、「掛」「応じ」「返し」を展開することが求められます。



15時からは「立合競技」が行われました。術技の効力によって「効果」「技有り」「一本」の判定がなされ、制限時間内の合計ポイントによって勝敗を決します。

攻撃権・応戦権という仕組み以外には制限が殆ど無いので、安全のために面と胴の防具をつけて攻防します。



16時半から相生道の源流たる天武無鬮流の棒術の演武が披露された後、閉会式にて各競技の授賞式が行われました。



第八回大会は2013年12月の第一週末に実施予定です。

発行：日本相生道協会愛知県支部 (<http://www.soseido.org>) 文責：杉山元康